

カナダの語学学校、日本人学生に救いの手

ランゲージズカナダ (Languages Canada, LC (認可されている英語、フランス語研修プログラムを統括しているカナダの全国組織 以下 LC)) に所属の 13 の語学学校が、日本の破綻した留学仲介業者ゲートウェイ 21 と、ゲートウェイ 21 の下請け代理店である International ESL Systems of Vancouver が取り扱った日本人学生に、すでに学生が支払済みの学費分相当の授業を無料で提供すると申し出ました。この支援策の総額は、概算で 50 万ドルを超えます。全世界では、1000 人以上の学生、カナダでは約 160 人の学生がゲートウェイ 21 の経営破綻の影響を受け、中には 2009 年 8 月分までの学費をすでに支払っている学生もいました。カナダにいる学生は、ゲートウェイ 21 の債権者の中で学費支援を得ることのできた数少ない学生たちです。

この支援策を提供しているのは、以下の学校です。

Canadian College of English Language、English Bay College、Eurocentres Canada、Global Village Vancouver、International Language Schools of Canada、ITTTi Vancouver、Kaplan Aspect、King George International College、LSC Language Studies Canada、Omnicom School of Languages、Pacific Gateway International College、Tamwood International College、Van West College

これらの学校は、全て LC のメンバーです。LC のメンバーは、カナダで勉強している学生が良い学習体験をしてくれるように配慮しています。

「留学生を受け入れている語学学校は、過去に学校の倒産などの珍しいケースがあった場合に、一般的に支援策を提供してきました。留学仲介業者の破綻に伴ってメンバーが学生の受け入れに合意するというのは初めてのことです。」と、LC の代表、カルム・マックニーは語っています。「このような手厚い支援は、カナダの学校が国際的に高い評価を得る理由の一つにもなっています。」

今回の件では、迅速な対応が最も重要な鍵となり、ほとんどの学生は、カナダでの留学生生活があまり途切れることもなく、勉強の継続ができました。「ランゲージズカナダは、ここカナダにおける学生の受け入れを喜んで調整しました。それは、メンバー校が、危機的状況にある留学生を支援することは、さらにカナダの学校への信頼を高める子につながる倫理的な選択肢であると信じているからです。」と、LC のエグゼクティブディレクター、ジョアン・ラコンブは付け加えました。